

平成30年政策評価書

千葉県警察重点目標	安全で安心できる県民生活の確保
施策	テロの未然防止と災害対策の推進
施策目標	災害対策の推進
施策設定の背景	<p>近年、国内では台風や集中豪雨による土砂災害、河川の氾濫等の大きな被害が毎年発生しており、これらの災害はどこでも発生することが危惧されています。また、県内には日本有数の石油コンビナートや成田国際空港を擁しており、自然災害のほか、石油コンビナート事故や航空機事故等、大規模事故災害の発生も懸念されます。</p> <p>県警では、県民を災害から守るため、災害用装備資機材の整備や各種災害訓練を継続的に実施するとともに、災害に関する広報啓発活動を推進し、県民の防災意識の高揚に努めていきます。</p>
実施項目 1	各種災害訓練の実施
推進結果 1	<p>近年、日本各地で発生している大規模災害への対応で得られた反省や教訓を踏まえ、いかなる大規模災害にも的確に対処できるよう、実際の災害現場で活動を共にする防災関係機関と連携した災害対応訓練を実施したほか、地域住民参加による実戦的な合同訓練を実施しました。</p>
実施項目 2	災害に関する広報啓発活動の推進
推進結果 2	<p>県民に対し、警察広報紙を活用した広報や、市民祭りなどのイベント会場における広報啓発活動を推進したほか、警察官による防災講話等を積極的に開催し、災害に対する危機管理意識の醸成に努めました。</p>
実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種災害訓練の実施状況              主な警備訓練として、瓦礫処理施設を活用した救出訓練、ヘリコプターを活用した救助訓練、都県境管轄署や隣接署との災害警備合同訓練を始め、介護施設・養護学校等での避難訓練など、関係機関との合同訓練を実施しました。</li> <li>○ 災害に関する広報啓発活動の推進状況              県民に対し、市民祭りなどのイベント会場における広報啓発活動や学校等における防災講話を実施しました。また、警察署独自に広報用チラシを作成したり、災害展示パネルを活用した広報啓発活動を実施しました。</li> </ul>
実績（成果）指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関との合同訓練の回数（平成30年中） 403回（前年比+67回）</li> <li>○ 災害に関する広報啓発活動の回数（平成30年中） 350回（前年比+46回）</li> </ul>
参考指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害に伴う人的被害の発生状況（平成30年中）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害（台風、大雨、強風、地震） 25件                  負傷者22人（うち、重傷者1人、軽傷者21人）</li> <li>・事故災害（工場火災、有害物質漏洩等） 60件                  負傷者14人（うち、重傷者2人、軽傷者12人）</li> </ul> </li> </ul>
効果	<p>実戦的な災害警備訓練や各種教養等により、危機管理意識が醸成され、円滑な災害警備活動等を推進することができました。</p>
今後の課題及び方針	<p>今後発生が懸念される首都直下地震や南海トラフ地震はもとより、いかなる大規模災害にも的確に対処できるよう、平素から実際の災害現場で活動を共にする防災関係機関との情報交換や実戦的な合同訓練を実施するなど、相互の体制、救助手法、装備資機材等への理解を深めると共に、災害に係る危機管理体制の点検及び構築を持続的に推進してまいります。</p>
施策主管課 政策評価担当課	警備部警備課 警備部公安第一課